

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	医療栄養学科 医療情報学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18004	1	後期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	生命倫理学 (Bioethics)				
担当教員名	山本 伸裕				
授業の概要及び到達目標					
<p>ヒトは肉体を有する存在である。その限りにおいては、ヒトの身体は「モノ」と言える。だが、「いのち」とともにある「人間」の身体は、単なる「モノ」として扱われるべきではない。その意味でも、人間のケアにあたる仕事が仕事である医療の現場においては、「いのち」ある「人間」という視点に立った「倫理」のあり方に向き合う姿勢が、強く求められることになる。</p> <p>この授業では、パターナリズム、自己決定権、パーソン論、QOLとSOL、人口妊娠中絶、臓器移植の問題など、生命倫理学で扱われる基礎的な議論をひとつお押しさえたうで、医療の現場で起きた具体的な事例などをおして、背後にある倫理的課題を様々な角度から、深く抉り出すことをしたい。また、日本人の死生観に独自の「倫理」のありようについても、随時、触れていきたい。</p> <p>なお、毎回、授業の冒頭で、講義のテーマに関わる15分程度の映像資料(DVD)を視聴する。</p>					
準備学習等					
<p>生命倫理をめぐる諸問題には、正しい答え、究極の答えなどない。近い将来、医療の現場に携わる人間として、答えのない問題に関心をもって目配りするように心がけてほしい。</p> <p>下記の「授業計画」を参照し、指定の教科書や参考書を予習・復習に十二分に活用するとともに、毎回のテーマに沿ったニュース記事などを、各自インターネットや新聞などで調べておくこと(1時間程度)。また、映画やドラマ、小説などにも、生命倫理をテーマとした作品は多いので、積極的に活用してほしい。指定した教科書以外にも、生命倫理を扱った本は数多く出版されている。各自が興味のあるテーマについて見識を深め、試験に備えておくことが望ましい。</p>					
成績評価の方法	試験(持ち込み不可) 80% 小テスト 20%				
テキスト	小林亜津子『看護のための生命倫理』[改訂版](ナカニシヤ出版)				
参考図書	小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理:「いのち」は誰が決めるのか』 (ちくまプリマー新書) 香川知晶『命は誰のものか』(ディスカバー携書)				

備 考	<p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認のこと。</p> <p>○各回の授業の前後に、生命倫理にテーマに関わる記事などを新聞やネットを通じて調べて来ること。</p> <p>○質問等は、基本的に授業終了後に教室で、もしくは事前にアポイントをとったうえで、研究室（東が丘）で受付ける。</p>
授 業 計 画	
<p>《講義テーマ》</p> <p>第一回 倫理と応用倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理と哲学はどう違うのか？・医療という技術は他の技術と何が違うのか？ ・倫理の問題に答えはあるのか？ <p>第二回 パターナリズムと自己決定権</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療者の倫理とは？・私たちは自分のことを自分で決められるのか？ ・インフォームドコンセントとは <p>第三回 遺伝子治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトゲノムの解読は医療をどう変えるか？・人はいつから人になるか？（パーソン論） <p>第四回 出生前診断と優生思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の選別は許されるか？・人工妊娠中絶は医用行為か？ ・優れた生とは何なのか？ <p>第五回 不妊治療と代理母</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体外受精、代理母は許されるか？・産む人間の権利か、産まれる人間の権利か？ ・クローン人間の作成が許されないのはなぜか？ <p>第六回 生殖に関する倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復不能な子どもの治療を停止してよいのか？ ・安楽死（尊厳死）の是非について <p>第七回 終末期医療と臓器移植</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳死は人の死か？・臓器はモノなのか？ ・再生医療の現在 <p>第八回 宗教上の治療拒否</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信仰の自由か、救命か？・子どもの治療を親が決めていいのか？（代理同意） 	